

# 第17回 KAZOクライミングカップ 2016【参加者案内】

## (第29回 県民総合体育大会兼国民体育大会埼玉県予選会)



このたびは申込みを頂き、誠にありがとうございます。

選手受付は、7:50~8:30です。

スムーズな運営のため、参加される方及び引率される方は、ご協力をお願いします。

予選の競技形式は、全員が2ルートをフラッシングで登る形式です。他の選手の競技を自由に見ることが出来ます。なお、予選のデモンストレーションは、事前に撮影した映像をアイソレーション・ルームで公開します。

決勝は、オンサイト競技です。以下、この参加者案内を順守願います。

### 1 注意事項

- (1) 5/27(金)~28(土)はルートセット作業のため、出場選手及びその関係者の方は、競技会場となる加須市民体育館のご利用は御遠慮下さい。
- (2) 開会式・競技中・閉会式(表彰式)の服装は、IFSC及び国体の規定に準じます。なお、メーカーのロゴマークや上履きなども適切に対応願います。
- (3) ゼッケンは、背中中央に貼ってください。
- (4) 競技順等は参加者変更等で当日変更されることもあります。ご留意願います。
- (5) 競技順の早い選手は、受付終了後アイソレーション内のウォームアップ壁を使用して、アップを行ってください。その際は、お互い譲り合って競技順の早い選手を優先するようお願いいたします。なお、液体チョークのみ使用可能です。
- (6) 競技時間は、予選は6分間で決勝は8分間です。なお、40秒の最終オブザベーションは競技時間内に含めます。
- (7) 競技終了後は、選手の行動の拘束はいたしません。
- (8) 所定の場所以外で、飲食や喫煙をしないで下さい。

### 2 持参するもの

ハーネス、クライミングシューズ、チョーク、マット(シート)、食料、飲料、下足入れ(ポリ袋)等

### 3 ルートセッター

セッターは、小澤信太さん(チーフ)、是永敬一郎さんです。



#### 4 予選について

- (1) 2本登った合計順位をもとに、決勝進出者を決定します。
- (2) 決勝進出者は、各カテゴリーで8人を予定しています。
- (3) フラッシング（前の競技者のクライミングを観察出来る）で行います。オンサイトの時のようなオブザベーションは行いません。競技開始の一時間前から、アイソレーション・ルームで各カテゴリーのデモンストレーションをビデオ放映いたします。

※ 競技順は、スタッフの指示に従って下さい。

**【競技順】別紙とおります。**

- 予選は、各カテゴリーで2組に分かれて、それぞれ2本登るフラッシュです。

#### 5 その他について

- (1) 役員及び指示された選手以外は、原則競技エリア内への立ち入りは出来ません。
- (2) 決勝では、携帯電話などをアイソレーション内に持ち込めないのので、受付前に知人等に預けてください。
- (3) 選手は、オーディオ機器をオブザベーション中及びクライミング中に所持又は使用してはならない。

**【大会当日・日程表】** \*注意：タイムスケジュールは概ねの目安です。  
競技の進行状況によって、時間は多少前後します。注意してください。

7:50	～	8:30	選手受付
8:30	～	8:50	開会式
<b>【 予 選 】</b>			
9:00	～	11:00	キッズ 予選
		11:20	ミドル 予選
11:10	～	13:30	ビギナー 予選
11:40	～	13:00	スーパーミドル 予選
13:10	～	14:40	エキスパート 予選
<b>【 決 勝 】</b>			
14:00	～	15:00	キッズ 決勝
			ミドル 決勝
15:10	～	16:10	ビギナー 決勝
			スーパーミドル 決勝
16:40	～	17:40	エキスパート 決勝
18:10	～	18:40	閉会式

# 【競技上の注意と選手に知っておいて欲しいルールなど】

## 1 ) 受付およびアイソレーション

- ・ 選手は別記した受付時間内に受付手続をすませて下さい。
- ・ スタッフからの指示があり次第、選手はアイソレーションに入って下さい。  
一定時刻までに入らない場合、出場資格を失うことがあります。
- ・ 選手はアイソレーションクローズ後（原則として受け付け時間終了時になります）、各自の競技終了まで主催者の管理のもとにおかれ、ルートの事前下見（オブザベーション）と、自分の競技時以外はアイソレーションから出ることはできません。  
したがって、競技までの待機中に必要な食料、飲料等は必ず持参してアイソレーションに入って下さい。  
ただし、予選はフラッシングなのでスタッフの指示に従って下さい。
- ・ アイソレーションには、選手の他に必要な付き添いが入ることが出来ます。  
アイソレーションクローズ後は、付き添い者は随時アイソレーション・ルームから出ることは出来ますが、再度入ることは出来ません。
- ・ アイソレーション・ルーム内への携帯電話などの通信機器の持ち込みは禁止です。

## 2 ) 予選デモンストレーション

- ・ 予選のデモンストレーションは、アイソレーション・ルームで、競技開始の一時間前からビデオ記録にて放映します。ビデオの視聴は、競技順の早い選手を優先します。
- ・ 開会式終了後直ちに競技を開始しますので、各カテゴリーの競技順1～5場目までの選手は、スタッフの指示に従って下さい。

## 3 ) 決勝オブザベーション

- ・ オブザベーションは、競技開始時に選手全員でおこなうルートの下見です。  
時間は6分間で、残り時間が1分の時点で、タイムキーパーからその旨が告げられます。
- ・ オブザベーションの際は、スタッフの指示に従って、アイソレーションから、競技エリアに移動してください。  
なお、オブザベーション終了後は、競技順の早い選手（当日指示します）はコールゾーン（最終待機場所）に移り、競技準備に入ります。ハーネスを装着のうえ、予め全ての荷物を持って移動して下さい。
- ・ オブザベーションは、定められた範囲の中でおこなって下さい。  
双眼鏡などの使用、メモの作成は認められますが、ビデオカメラなどの記録機器の使用は禁止です。
- ・ オブザベーション中に観客などと会話をすることは認められていません。  
ルートの内容に関する会話を観客などで行なった場合、即時に失格となります。無論、選手同志の会話は問題ありません。

## 4 ) -1 競技時間等-予選

- ・ 競技時間は、予選について6分間です。この時間は、選手が競技開始ラインを越えた時から計測を開始します。
- ・ 選手は競技開始ラインを越えた時から40秒以内に登り始めて下さい。  
40秒経過時に、タイムキーパーからその旨が告げられます。それを過ぎてもまだ登り始めない場合は、ジャッジから警告を受け、再度の警告で失格となります。
- ・ 選手は、残り時間を随時タイムキーパーに確認することができます。

## 4 ) -2 競技時間等-決勝

- ・ オブザベーションに先立って決勝進出者の紹介を行います。
- ・ 決勝の競技時間は、8分間です。選手が登り始めた時点から、計測を開始します。
- ・ 選手は競技エリアに入った時から、40秒以内に登り始めて下さい。  
この場合40秒経過時にジャッジから警告が与えられ、これを過ぎても登り始めないと失格になります。
- ・ 決勝進出者は、各カテゴリー8名を予定します。

## 5 ) 競技中

- ・ハーネスは、メーカーが指定した方法で正しく装着して下さい。
- ・ロープをハーネスに結ぶ時は、止め結びをおこなった8の字結びで結んで下さい。
- ・ルート中のクイックドロースリングは、下から順番に全てにクリップして下さい。  
クリップしなかった場合、そのクイックドロースリングのクリップ側のカラビナを選手の体の全てが通過した時点、もしくはクリップしていないクイックドロースリングが、手で触れることが出来なくなった時点で競技停止となり、その時点の位置（高度）が記録となります。  
なお、あるクイックドロースリングにクリップせず次のクイックドロースリングに先にクリップした場合、原則として競技中止となりますので注意して下さい。
- ・特定のクイックドロースリングについて、指定されたホールド（及びその手前のホールド）を保持した状態でクリップすることが、マーキングで指定される場合があります。その場合、そのクイックドロースリングにクリップすることなく指定ホールドを過ぎてしまうと、その時点で競技中止となります。
- ・Zクリップは、速やかにやり直して下さい。その際、上下いずれのカラビナからロープを外しても構いませんが、最終的にクリップしていないカラビナがあるまま登り続けることは出来ません。
- ・壁の左右と上端の縁を使用してはいけません。この場合もその時点で競技中止となり、その時点までの最高到達位置が記録となります。特に、カウンターバランスで流した足が触れ、疑われるケースが多いので十分注意して下さい。
- ・競技中にホールドが回転あるいは破損、あるいはビレイヤーのロープ操作の不手際でといった、選手自身に起因しないことがらで、競技の続行に支障をきたすことがあった場合、テクニカル・インシデントを申し出ることが出来ます。  
これに対して、ジャッジがテクニカル・インシデントを認めた場合、インシデント発生までに要した手数（ハンドホールド）×1分で最長20分間の休憩後、再度登ることが認められます。

## 6 ) 最高到達点

- ・成績はフォール、もしくは競技停止時点において手で保持していたホールドの高度（位置）によります。ルートがトラバースしている場合など、一見高度としては低い位置のホールドが、手順的に高い数字を与えられる場合があります。予め注意して下さい。
- ・あるホールドを保持後、次のホールドを取るのに有効なムーブをおこなったと見なされる場合（ルート上を登っていく中で、有効な制御された登攀動作）は、そのホールドの使用と判断します。その際の成績は、ルート図上でホールドに付けられた番号にプラス（+）の末尾符号を付けて表し、同じホールドの保持よりも上位となります。

## 7 ) 完登

- ・完登は、最終のクイックドロースリングにクリップして初めて成立します。  
最終ホールドを保持しても、最終クイックドロースリングにクリップする前にフォールしたり、壁の上端をつかんだりした場合、完登とは見なされません。ただし、トップロープについては、最終ホールドの両手保持で完登とします。
- ・完登後は、ビレイヤーの指示に従って、ローダウンして下さい。

## 8 ) 成績

- ・決勝において同着が出た場合、予選の成績を考慮して順位を決定します。（カウントバック）それでもなお、同着がある場合は、決勝ラウンドの競技時間の短い方が上位となります。
- ・各カテゴリー、それぞれ上位8位まで賞状と賞品を授与します。

## <お願い>

FAXで申込みをした方は、必ず誓約書に押印のうえ、  
参加申込書(原本)を受付に提出して下さい。

